

令和3年度業務執行報告

[令和4年6月1日 HP 掲載]

I、法人運営の概要

II、事業執行の内容

- ・教育目標及び基本姿勢
- ・当該年度の事業概要
- ・事業の目的計画と実施
- ・実施計画の進捗状況等
- ・認定こども園事業
- ・職員研修（園内、園外）
- ・情報発信の状況

III、学校評価について

- ・利用者評価結果の集約内容
- ・学校関係者評価の内容

IV、財務状況の内容

学校法人内丸学園 幼保連携型認定こども園

盛岡幼稚園

令和3年度・事業報告書

I 法人の概要

- 1、法人名： 学校法人内丸学園
 2、理事長： 坂本 洋
 3、住所： 岩手県盛岡市中央通1丁目6-47
 電話：019-622-2301 Fax: 019-622-1819

4、設置する学校

名称： 幼保連携型認定こども園 盛岡幼稚園
 認定こども園（認定月日：平成19年2月27日）
 類型：・幼稚園型（当初は認可外保育施設併設）
 ・幼保連携型（平成22年4月1日認定）変更
 ・ 〃 （平成27年4月1日新制度移行）
 備考：22年度から0歳児～2歳児は保育所認可【定員21名】、23年度【定員30名】となる。運営費委託料計上は厚生労働省所管（盛岡市保健福祉部）。
 平成27年4月1日から子ども・子育て支援新制度により、従来の幼稚園・保育園が単一施設となり、3号子ども定員30人から42人へ変更。幼稚園学校教育部分は4学級105人。内訳1号子ども定員45人、2号子ども60人へ変更。合計：147人。
 令和2年度から3歳以上児の定員変更：1号子ども30名。2号子ども75名とする。

5、学級編成と定員並びに実績（認定こども園定員：147名）令和4年3月1日現

項	5歳児学級	4歳児学級	3歳児学級	計
定員	1学級	1学級	2学級	4学級
	35名	35名	35名	105名
令和3年度実績	1学級	1学級	2学級	4学級
	30名	32名	30名(満3歳0名)	92名
	保育【0歳～2歳 定員42名】0歳：9, 1歳：15, 2歳：18			42名

計：134名

6、認定こども園受入れ実績状況（認定こども園定員：147名）令和4年3月1日現

入園対象の認定	3～5歳児(満3含)	0～2歳児	計
1号	18名		18名
2号	74名		74名
3号		42名	42名
計	92名	42名	134名

7、法人役員・教職員の概要

理事 7名：理事長1名、理事長代行者1名、理事他5名

(理事長：坂本洋、理事長代行者：松本静毅、理事：坂本信行、荒木田一男、
関 雅彦、中原真澄、黒澤淳子)

評議員 15名：寄附行為23条(1) 4名、23条(2) 3名、23条(3) 8名

開催内容：理事会5回、評議員会2回、監査会・外部2回、法人監事2回 計4回

理事会	① 5月22日、②9月10日、③12月17日、④1月29日、⑤3月25日
評議員会	① 5月22日、②1月29日、
監査会	① 5月18日、②5月20日(法人)、③1月31日、④2月1日(法人)

学校関係者評価委員会：年1回(令和4年3月18日) 評価内容は別添のとおり。

苦情解決第三者委員会：年1回(令和4年3月18日) ”

教職員 36名：理事長1名、園長1名、主幹保育教諭1名、指導保育教諭1名、
保育教諭16名、保育教諭(非) 8名、保育助教諭(非) 1名
看護師(非)1名、栄養士2名、調理師1名、調理員(非)1名
事務職員2名、【年度中、産休・育休者2名、常勤1名、非常勤補充1名】

II 事業執行の概要

1、教育目標及び基本姿勢

(1) 教育目標

生命力にあふれる子ども達が、愛情と活力と創造に満ちた生活をめざし、幼児の心身の発達に応じた豊かな体験が得られるよう教育環境を整え、一人ひとりの心情・意欲・態度の発達を養い、基礎的人間性の土台となる、生きる力や心の教育の育成を目標とする。

また、東日本大震災による被害状況が、かつて経験したことのない甚大な被災となり、これまでの危機管理対応を根幹から見直すこととなり、かけがえのない子ども達一人ひとりの命の大切さを改めて教育の根底に据え、安心安全な環境づくりに努めること。

(2) めざす子ども像

園 訓： つねによろこぶべし (いつもにこにこ)

- 健康でたくましい子ども
- よく聞きわかり行動する子ども
- すなおに感じ豊かに表現する子ども
- 心身ともに安定した生活を送れる子ども
- 神と人ともに喜ばれる子ども

(3) めざす教師の役割像

- 幼児一人ひとりが、より豊かに遊び、学ぶ生活を過ごせるよう援助する
- 集団生活の中で生きる力、喜びの広がりや育つ環境づくりに配慮する
- 自律と協同の育ちに配慮し、協同的な遊びや学びの環境構成を工夫する
- 総合的な教育と保育の一貫した幼児教育の保育計画づくりに配慮する

(4) 教育目標達成のための基本姿勢

- 型にはめない自由な個性の伸長 (個性重視)
- 遊びの十分な保障と充実感 (満足感と承認充足)
- 感性や情緒性豊かな環境づくり (夢のある環境)
- 愛情に満ちた子どもとのかかわり (愛着心の育成)
- 善悪の判断基準の適切な指示 (社会行動規範の明示)

2、当該年度の事業概要

運営基本方針に基づき、教育目標の達成に努め個性豊かな教育を実現した。

特に改訂教育・保育要領に基く教育指導計画の実施は、本年も引き続き幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿を意識した実践に努め、0歳児から5歳児までの一体的全体指導計画を作成する中で園内・園外研修で培った内容を教職員全員での共通理解を深め実践に生かすことに努めた。

しかし、年度当初より昨年に引き続く新型コロナウイルス感染が第6波としてまん延し、国内でも非常事態宣言やまん延防止重点措置のもとに、感染防止の行動自粛規制等で例年の教育活動に支障が出た。岩手県内でも東北6県同様の感染者発症の状態となり園内における3密回避、手洗い、うがい、消毒の徹底を図りクラスター発生の防止に努めたが、8月12日保育部2歳児クラス担当職員1名が感染症陽性判定となり、保健所指導による濃厚接触者の職員、園児がPCR検査を受けた。結果、13日から26日まで全園休園措置となった。但し幼稚園部は、保護者都合を配慮し臨時預かり保育を受け入れ実施した。

従って、例年実施の行事(運動会及び秋の遠足、保育参観等)が中止や縮小の止む無き事態となり、改めて子ども主体の諸行事の有り方検討の機会となった。なお保護者の全面的理解とご協力のもとに中止、縮小された行事の代替えしたものを工夫し実施した。

なお、令和3年2月に岩手県庁内保育施設・うちまる保育園(小規模事業所内保育事業)開設に伴う連携施設としての覚書締結による交流があった。

◎ (主な行事等)

4月：第114回入園式、始業式、こいのぼり掲揚式、5月：避難訓練、健康検診、タッピングの畑、6月：歯科検診、眼科検診、耳鼻科検診、花の日礼拝、7月：薬剤師検査、七夕、プール遊び、お泊り会(内容の縮小)、8月：夏休み、9月：運動会中止、10月：園庭ミニ運動会、タッピングの畑芋ほり、作品展、11月：収穫感謝祭、焼き芋会、トトロランド、小学校体験学習、12月：クリスマス礼拝、冬休み、1月：鮭の赤ちゃん飼育、2月：保育参観、卒園を祝う会中止、3月：お別れ会、修業式、第114回卒業証書授与式(各月ごとの避難訓練実施した)

◎ (園外イベント参加) こいのぼり掲揚式参加(年長児クラス)

◎ 【1号認定・2号認定園児数状況】

3月末在籍：92、卒・退園児数：30、在籍園児数：62(A)

3月末入園申込み数：25、新入園児数：25(B)

次年度期首数(A+B)：87名

◎ 【3号認定園児数状況】

3月末在籍：42、卒・退園児数：18、在籍園児数：24(A)

3月末入園申込み数：11、新入園児数：11(B)

次年度期首数(A+B)：35名

◎ 幼保連携型認定こども園・盛岡幼稚園：次年度期首合計数：122名

3、事業の目的計画と実施

幼児教育の専門性資質向上及び幼児一人ひとりの育ちを保障する保育理念のもとに、ふさわしい教育環境をもって、幼児の心身の発達に応じた豊かな体験と感動に満ちた教育活動を計画立案し、加えて幼保一体化の認定こども園事業を積極的に取り入れた運営を実施した。

◎ 質の豊かな食育・給食提供のため、3号園児への自園給食調理機能の充実を基本とし、また1号、2号園児への完全給食提供のため給食調理室稼働の充実を図り、園児への食育指導の計画案を作成し実施した。

◎ また、個別的配慮を要する園児は保護者の要請により6名（精神発達遅滞2名、自閉症・多動2名、精神遅滞・自閉1名、精神遅滞境界域1名）の受入れとなり、健常児の中で持てる能力の成長に留意し、個々の支援計画を作成し職員の共通理解を深め丁寧な関わりに努めた。また園内研修で特別支援の共有に努め合理的配慮を要する子ども指導を強化した。

◎ なお、教育課程外の預かり保育（家庭部保育）は、認定こども園事業実施の中で継続して実施している。詳細利用実績は下記記載5、の通り。

◎ 新制度移行の当園の経過は、認定こども園として、平成19年2月27日付けで岩手県第一号の認定。当初は幼稚園型であったが、平成22年4月からは、認可保育園として、0歳児を加え認可保育事業として実施した実績。子ども子育て支援新制度以降は、改めて幼保連携型認定こども園として、単一施設としての『盛岡幼稚園』を更に前進させている。

◎ 本年度の3号認定児の入園受け入れ実績は、令和3年4月初日在籍39名(0歳児:6名、1歳児:15名、2歳児:18名)と定員を下回る状況。新年を迎え令和4年3月には、在籍数42名(0歳児:9名、1歳児:15名、2歳児:18名)と定員(42名)在籍数で、特に0歳児6名定員のところ9名在籍となった。これは入園許可認定を行う盛岡市福祉行政当局から待機児童解消のための要請によるものです。

4、事業実施計画の進捗状況等

計画された教育・保育活動は、コロナ禍の中にも年度計画所期の目的を達し、個々人の発達に応じた生きる力や心の教育の育成並びに保育養護の向上に貢献した。

特に教職員の自己点検意識が高まり、客観的に自らの指導計画や子どもに向き合う姿勢並びに教職員集団の力として園内研修実施等発揮できる体制が確立されつつある。

なお、東日本大震災を経験し、改めて危機管理対応の見直しを行い、また新型コロナウイルス感染予防のマニュアルの徹底等により3密回避による教育活動の見直しを図り、子ども

も主体優先の行事となった。このことは保護者へも伝え共通理解を深め、ご協力・情報の共有に努めた。

◎ 盛岡幼稚園 教育実施日数：年少クラス、年中クラス、年長クラス 40 週
3 歳児 (191 日)、4 歳児 (191 日) 5 歳児 (195 日)

◎ 保育実施日数：・0 歳児～2 歳児 293 日 ・3 歳児～5 歳児 293 日

5、認定こども園保育事業（預かり保育）

(1) 預かり保育推進事業の実績数

	満 3 歳児	3 歳	4 歳	5 歳	計
2 号認定利用児	0	25	25	25	75
1 号認定利用児	0	0	0	0	0

3 歳児から 5 歳児の月平均利用は 75 名 (昨年 77 名)。その内 1 号認定児は 0 名。2 号認定児は 75 名で全員標準時間利用児であった。なお、臨時的利用児は、月平均 4 名の実績となった。

預かり保育の 1 号・2 号児の保育指導状況は、臨時の預かり保育利用児を含め、3 歳児、4 歳児、5 歳児各年齢児ごとグループに分けて各担当職員の掌握日課で実施した。

特に 5 歳年長児は 6 月以降の午後保育中の午睡を柔軟に取り入れた保育を行うこととし、幼小接続を意識したアプローチカリキュラムを考慮した処遇活動。また、早朝と延長保育は異年齢合同保育として行った。

また、土曜日保育利用は殆ど 2 号児、年間利用実績数 228 人、月平均 19 人、週平均 4.6 人で異年齢合同の処遇であった。(3 号児の保育は、別室の別処遇である)

◎年間開設日数：保育日数は年長児クラス 195 日及び、土曜日：延べ利用数:228 名、月平均 19 名 (昨年 236 名、月平均 19.6 名)、春・夏・冬休みの実施を入れ 293 日開設した

◎ 子育て支援事業 (トトロハウス)：週 1 回、年間開催回数 28 回、登録者延数：21 組 (昨年 17 組)、一回平均参加者数約 5 組 (昨年 4.3 組)。【親子参加、費用無料、前日までに申込み】 ※コロナ感染予防のため参加者受け入れを 5 組に制限した

(2) 子育て相談事業：相談件数は 81 件、一般：3 件 (昨年 7 件)、園児及び子育て支援事業参加者保護者：78 件と、昨年の総件数 92 件に対し微減した。

・相談内容：しつけ・育児が 33 件(41%)、排便排尿が 8 件(10%)、発達・障害 11 件(14%) 登園しぶり 7 件、トラブル・いじめ 1 件、その他 21 件 (26%) 等の内容であった。


・相談対応：継続観察 28 件(35%)、助言指導 53 件(65%)。面談相談が多く (8 割) 助言指導が 6 割強を占め、継続観察ケースは、しっかりと見守り以後の報告を丁寧に実施した。

なお、本年は少ない一般相談であったが、例年と同じく在園児や子育て支援事業参加者の相談利用が主であった。

6、令和3年度 職員研修実績

(1) 園内研修実績 *研修テーマ

『幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿について理解を深め、子どもの育ちにつなげる保育とは何か』

日 程	内 容	記録
4月21日(水) 14時～	・ 昨年の園内研修の振り返り ・ 今年度の研修テーマについて考える	坂本
5月12日(水)	・ 年間指導計画ポートフォリオの確認、見直し ・ 保健計画、学校安全計画の確認と検討、見直し	石田
6月9日(水)	・ 各クラスで気になる子どもや、合理的配慮が必要な子どもについて様子を話し合い、特性や対応を共通理解する	村松
7月7日(水)	・ 園長先生の講話 『乳児の言葉の育ちと関わり』	瀧山
8月11日(水)	・ キリスト教保育の行事や由来について学ぶ	竹岡
9月8日(水)	・ 『幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿について』資料をもとに学びを深める ・ 10の姿を意識したエピソード記録を書く	齋藤 (ゆ)
10月6日(水)	・ エピソード記録をもとに、子どもの育ちを考え、保育教諭の援助や、その子の育ちを検討する。	齋藤 (あ)
11月10日(水)		中村 (真)
12月8日(水)	・ 合理的な配慮が必要な子どもについて②	千葉
1月18日(火)	・ エピソード記録をもとに、「子どもの育ちにつながる保育教諭の援助」について、付箋を用いてワークショップをする。	齋藤 (あ)
2月(自主研修)	・ ワークショップの資料をもとに、学年ごとに『自然・生命の尊重』の年間指導計画(ねらい・遊び・援助等)を検討する。	
3月(自主研修)	・ 一年のまとめ ・ 次年度に向けて	研修担当

(2月、3月は対面参加研修を自粛した)

※非常勤職員の研修(年3回)実施。

- ① 6月1日 … 幼稚園教育の動向等
- ② 11月24日 … 合理的配慮を要する子について
- ③ 2月24日 … 処遇改善臨時特例事業に関わる処遇改善について等

○この他にも職員間で話し合いの機会を設け、研修の機会とする。

- ・ 個別支援計画について
- ・ 学期毎の反省・評価
- ・ 研修参加報告(復命書にて)
- ・ 活動や教材の理解と研究など

※園外参加研修については、復命書の回覧にて全職員で共有。

(2) 園外研修実施状況 ◎特別支援に関する研修会 □保幼小連携に関する研修会 ○その他

日程	研修会（主催者）	研修内容
6.8	○園長等運営管理協議会	・説明「本県の幼児教育の充実に向けて」 ・講義「職員が育つ園運営の在り方」等
6.17～ 18	◎岩手県総合教育センター 通常学級における特別支援教育の視 点を生かした支援研修講座	・講義と演習「子ども主体の授業づくり」 ・講義と演習「学びの土台となる感覚運動とビジョントレー ニング」等
7.30	○岩手県私立幼稚園・認定こども園 連合会 第1回教員研修会	・講義「障害児の発達の援助、家庭及び関係機関との連携」 ・講義「科学的根拠に基づいた食物アレルギーの診断と栄養 指導」
8.6	□教育研究所公開講座	・講義「幼小の円滑な接続に向けた全体像の概要について」 ・講義「接続を見通した教育課程について」等
8.18	□岩手県幼稚園教育研究協議会 (オンライン)	・説明「協議主題と協議の視点について」 ・講演「幼児教育現場における評価のあり方について」
8.24	○県連 第1回経営セミナー (オンライン)	・講演「保育現場におけるメンタルヘルス対策とは」 ・講演「職員への指導・助言の対応について」
9.10	◎盛岡市保育所協議会 研修会 (オンライン)	・講演「子ども理解と障害児保育」
10.5	○岩手県総合教育センター 感情コントロールの力を育てる教師 の関わり研修講座	・講義と演習「感情コントロールの力はどうに育つか」 ・講義と演習「いじめ被害と加害が循環する学級における対 応」
10. 22	○盛岡市保育所協議会研修	・講演「盛岡市の療育と保護者支援について」
11.5	○盛岡市保育所協議会研修	・講演「食物アレルギーの対応：栄養士の立場から」
11.7	◎岩手医大障がい児者医療学講座	・講演「地域連携による子どもの発達支援 ～子育て支援と発達支援をつなぐ～」
11.15	○幼児教育中核リーダー養成研修講座Ⅱ (県総合教育センター)	・講義「これからの教育・保育の方向性」 ・研究協議「保育者の資質向上を目指した園内研修の充実」
11.15	○新型コロナウイルス感染症対策研 修会	・講演「今こそ総おさらい！新型コロナ基礎講座」 ・講演「保健施設における新型コロナウイルス感染症対応」
11.17	□保育所・幼稚園・小学校交流研修 会	・説明「岩手県幼児教育推進体制に係る説明および盛岡市 幼小接続プログラム・カリキュラムに係る説明」・実践紹介
1.11 ～.12	◎岩手県私立幼稚園・認定こども園 連合会総合研修会	・講演「発達障害の特性理解と支援の枠組み」 ・分科会「保育現場におけるリーダーシップの理解」等
1.29	◎保育を語る日キャリアアップ研修 (オンライン)	・講演「多様な子どもへのかかわり方～発達障がいについ て～」
2.10	○児童福祉施設等栄養士研修会	・講演「保育施設の給食における食物アレルギーの対応」 ・講演「栄養管理状況報告書の書き方について」
*	○盛岡地区教員研究会 *コロナ禍のため、今年度は中止。	・分科会研修

※コロナ禍の影響で、オンライン研修が多くなっている。

7、情報の発信の状況（公表・公開）

(1) 園報の発行：年4回発行。発行部数240部。法人及び園内情報。
送付先は、保護者（110部）、同窓生、関係機関他（130部）

(2) その他の情報発信

幼稚園便り(全世帯)：12回（毎月1回発行）、臨時便（コロナウイルス感染防止含む）

保育部便り(0・1・2歳児世帯)：12回（毎月1回発行） 臨時便5回

学年便り：年長児クラス18回、年中児クラス15回、年少児クラス15回

給食便り(毎月)、ほけん便り：年9回

県PTA連合会会報：2回、PTAしんぶん：12回、あんふあん：12回

(3) インターネット・ホームページ：幼稚園の沿革及び業務内容の紹介。

園児活動状況の随時紹介 **Web お便り** 20回、**にこにこ園日記** 41回発行は好評。

また、業務執行・年度状況の報告（財務状況を含む）を公表。

アドレス：<http://www.1907-mkg.com/>

(4) おがスマ配信（18回） 10月以降、主にコロナ関係情報を配信した

保護者スマホ緊急情報連絡用として、おがスマアプリをダウンロードして頂き利用。

Ⅲ 学校評価について

平成19年6月に学校教育法、同年10月に学校教育法施行規則の改正により、自己評価・学校関係者評価の実施・公表に関する規定が新たに設けられました。

当園では、教職員による業務の自己点検・自己評価は、平成20年度から実施しております。

昨年度は、教職員自己評価内容を公表報告しましたが、本年度は保護者アンケートを実施した集約内容を公表いたします。

また、新制度によって単一施設となり、従来の幼稚園のみに設置されていた『学校関係者評価委員会』、及び保育園にのみ設置されていた『苦情解決第三者委員会』を、単一施設として両委員会を設置し、令和4年3月18日に、学校関係者評価委員会及び苦情解決第三者委員会と合同で報告会を開催し、本年度の園の運営並びに経過について報告し評価して頂きました。

1、令和3年度 利用者（保護者）アンケートの集約と分析

○調査期間 令和3年11月30日～12月14日

○対象者 在園児保護者全員

○回答は無記名。回答数は保育部が37名中35名、幼稚園部が92名中83名、合計129名中118名の回答。このアンケートで、保育部とは3歳未満児クラスで幼稚園部とは3歳以上児クラスである。回答率は保育部が94.6%。幼稚園部が90.2%、全体で91.5%。

○自由記述の集計で終わりの()内の数字は、人数を示している。例えば(C2、B3)の場合は、Cク

ラス2人、Bクラス3人が同じような意見である。

○自由記述欄に回答していただいた意見については、複数回答があったものを主に紹介する。

○集計結果については、職員、保護者、理事会・評議員会、第三者評価委員会に報告し、概要をHPで公開する。また、改善を要する事項については運営委員会で検討し、次年度からの経営に反映させる。

アンケート内容と集約

問1 お子さんは何歳クラスですか。

	保育部			小計	幼稚園部						小計	計
	ふたば	つぼみ	いちご		Cクラス		Bクラス		Aクラス			
					1号	2号	1号	2号	1号	2号		
回答数	7	14	14	35	5	17	7	20	6	18	83	118
園児数	7	15	15	37	5	25	7	25	6	24	92	129

1 教育・保育について

問2 お子さんは、幼稚園に行くことを楽しんで（楽しみにして）いますか。

ア. はい イ. いいえ ウ. どちらともいえない

	ふたば			つぼみ			いちご			Cクラス			Bクラス			Aクラス			計		
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ
回答数	6	0	1	12	0	2	11	0	3	28	0	0	18	1	8	26	0	1	101	1	15

問3 盛岡幼稚園での教育保育活動でよいと思われることはなんですか。（該当全て）

	給食	好きな遊び	園庭での遊び	お祈り	読み聞かせ	絵画制作	歌	観察園での栽培活動	えいごであそぼ	ダンス	ホールでの遊び	散歩	その他
保育部計	29	24	28	16	24	21	20	19	13	20	18	27	0
幼稚部計	69	64	67	56	63	63	56	71	69	60	64	57	12
計	98	88	95	72	87	84	76	90	82	80	82	84	12
割合%	83.0	74.8	80.5	61.0	73.7	71.2	64.4	76.3	69.5	67.8	69.5	71.2	10.2

問3 その他 ・絵本の貸し出し(C1、A1)、 当番、係の仕事(B1、A1)

トトロランドや聖誕劇等各種イベント(B2、A2)、等

問4 活動でもう少し充実してほしい内容がありましたらお知らせください。

0歳～2歳児

・跳び箱など体育要素のあるもの(2) ・英語教育(2)

3歳から5歳児

・英語教室(A2)
 ・体を動かす活動が増えたら嬉しい(B2) ・スイミングを取り入れてほしい(C1、B1)
 ・体育教室等があると良いです(C1、B1、A2)

2 職員・保育教諭について

問5 職員の対応で感心したこと、嬉しかったこと

0歳～2歳児

- ・毎日園での様子を教えて頂き、そして日々の成長と一緒に喜んでくれる気持ちでありがたく心強い。嬉しい。(9)
- ・担任の先生以外の職員も子どもの顔、親の顔を覚え挨拶してくれること (2)
- ・いつも笑顔での対応に癒される (2)
- ・コロナ対策で休みになった時期の電話での対応で、いろいろ配慮してもらった (3)

3歳から5歳児

- ・担任外の先生も子どもの名前を呼んで挨拶したり、声をかけたりして嬉しい(C1、B4、A1)
- ・今日の様子を教えてくれる、園での出来事を教えてくださる。安心(C6、B3、A3)
- ・子ども一人一人に目配りしていただいていること(C6、)
- ・朝、出迎えてくれる先生たちが親にも声をかけてくれ、安心して子を預けられる(C1、A2)

問6 職員の対応でもう少し配慮していただきたいこと

0歳～2歳児

- ・一度他の書類が間違っカバンに入っていることがあった。書類は個人情報もあるので気をつけた方がよい(1)
- ・子ども同士で怪我(傷)をしたときにいつも同じ子なのか気になっている。また、その場合手を出した子どもの親に報告しているのか(1)

3歳から5歳児

- ・例えば着替えの補充など、朝の先生に申し送るが数日そのままのことがあった。おがすまなどを使って申し送る？(C1)
- ・延長時、おやつを食べたり遊んでいるときに掃除が始まってしまうこと(C1)
- ・コロナ対策として各場所に人員がとられ大変な中ではあると思いますが朝に先生に伝達したいとき熱の表を見せる等を含め、混みあっていて伝えづらい(A1)
- ・登園時に担任以外の先生に連絡を伝えても担任の先生へ伝わっていないと感ずることがありました。(A1)

3 ご家庭と幼稚園との連携について

問7 連絡帳(保育部)や送迎時の保育教諭との会話などを通じて、園や家庭での子どもの様子について情報の交換ができますか。

	ア 満足	イ やや満足	ウ 普通	エ やや不満	オ 不満
保育部計	26	7	2	0	0
幼稚園部計	46	15	16	6	0
計	72	22	18	6	0
割合%	61.0	18.6	15.3	5.1	0

問8 幼稚園やクラスの様子などについて、「園だより」や「クラスだより」、「WEB」などを通じて、お知らせしていますが、それに対する満足度はいかがですか。

	ア 満足	イ やや満足	ウ 普通	エ やや不満	オ 不満
保育部計	23	8	3	1	0
幼稚園部計	52	21	7	3	0

計	75	29	10	4	0
割合%	63.6	24.6	8.5	3.4	0

4 子育てについて

問9 子育てについて、どのように感じていますか。

	ア、非常に楽しい	イ、楽しい	ウ、負担である	エ、非常に負担である
保育部計	12	21	2	0
幼稚園部計	22	57	5	0
計	34	78	7	0
割合%	28.8	66.1	5.9	0

問10 当園では子育て相談の対応にも努めていますがいかがですか。

	ア 満足	イ やや満足	ウ 普通	エ やや不満	オ 不満
保育部計	21	6	8	0	0
幼稚園部計	44	12	26	0	0
計	65	18	34	0	0
割合%	55.1	15.3	28.8	0	0

問11 ご家庭ではお子さんの育ちに関して最も気を使っている事柄三個教えてください。

	早寝早起	食事	食べ物好嫌い	あいさつ	読み聞かせ	テレビ等の視	ゲーム	登園時刻	友達関係	健康・病気	歯磨き	うがい	手洗い	その他
保育部計	10	12	7	15	4	4	1	0	4	24	14	0	5	0
幼稚園部計	29	44	8	46	12	7	5	3	17	44	24	2	11	4
全体計	39	56	15	61	16	11	6	3	21	68	38	2	16	4
割合%	33.1	47.5	12.7	51.7	13.6	9.3	5.1	2.5	17.8	57.6	32.2	1.7	13.6	3.4

5 コロナ対応について

問12 ここ1～2年のコロナ対応でお子さんの生活習慣で次の項目で変化が見られましたか
(集計は、「増えた、変化なし、減った」で行ったが、就寝時刻等は早くなった、遅くなったで行ってる。)

		手洗い	就寝時刻	テレビの視聴時間	うがい	起床時刻	家庭での友達遊び
保育部計	増えた	26	0	13	9	3	1
	変化なし	8	30	22	26	29	26
	減った	1	4	0	0	3	8
幼稚園部計	増えた	62	2	38	37	6	2
	変化なし	17	68	36	43	67	55
	減った	0	10	6	0	6	23
合計	増えた	88	2	51	46	9	3
	変化なし	25	98	58	69	96	81
	減った	1	14	6	0	9	31
割合	増えた	77.2	1.7	44.3	40.0	7.9	2.6

合	変化なし	19.3	86.0	50.4	60	84.2	70.3
	減った	0.9	12.3	5.2	0	7.9	27.0

問 13 家庭での健康観察をお願いしていますがそれについての感想

0歳～2歳児

- ・当たり前だと感じているので負担はない (5)
- ・保育施設を利用しているかぎりが必要なことだ (2)
- ・子どもの健康状態を観察するいい機会になっている。検温等の習慣が身に付いた(2)

3歳から5歳児

- ・継続的な実施により子どもの健康に関心を持ち、体調管理になっている。(C13、B18、A16)
- ・検温は必要だと感じる (C6)
- ・時間のない中での健康観察は正直に負担を覚えます (C1、B1)
- ・朝、夜の2回だが登園前のみでよいと思います。2回は必要か (B1、A1)
- ・印は誰の？。押印はなくても。家庭での押印より園の押印。(C1、B2、A2)

問 14 当園のコロナ感染症予防の取り組みに対する感想

0歳～2歳児

- ・今の取り組みで十分 (12)
- ・しっかり対応していると思う (2)

3歳から5歳児

- ・適切、評価できる、体調管理に役立つ (C12、B9、A12)
- ・大変ご苦労いただいている。感謝 (C8、B7、A4)
- ・手洗い、うがい、マスクが子どもの習慣になってよい (C2)

問 15 8月13日から25日まで休園措置を取らせていただきましたがそれに対するご意見等。

0歳～2歳児

- ・休園により感染が拡大することがなかったので安心した (5)
- ・今の状況的に仕方がない判断だと思う (3)

3歳から5歳児

- ・適切な措置(C1、B12、A7)
- ・感染拡大防止のための措置なので仕方がない(C8)
- ・両親共仕事が休めず、預かってもらい感謝。助かった(C2、A2)
- ・丁寧に対応していただき、説明も分かりやすく安心できた(B2)
- ・園のありがたさを痛感した(B1、A1)
- ・り患した先生には罪悪感を感じず頑張ってもらいたい(B2)

問 16 運動会を中止しミニ運動会にしてDVDで発信しましたがその感想

0歳～2歳児

- ・運動会に参加できなかったのは残念だがDVDを通して練習～本番までみることができた (9)
- ・祖父母が非常に喜んでいた (2)

3歳から5歳児

- ・作成に感謝 当日以外の子どもの様子が見られてよかった(C8、B16、A2)

- ・普段見られない園の生活の一部を見ることができて嬉しい(C5、)
- ・楽しみにしていたため様子を見ることができて嬉しい(C3、)
- ・見に行くことができなかつたので ありがたかつた(C2、B2)
- ・練習風景が入っていてよかつた(A5)
- ・先生方の目線で作成されていたので、子どものありのままが見られてよかつた(C2、A2)
- ・いつもと違う内容で寂しく感じたが家でゆつくりと DVD を楽しめてよかつた(B3)

問 17 作品展についての感想

0歳～2歳児

- ・作品にそれぞれ個性があり、見ていて楽しかつた (3)
- ・作品を通して子どもの作っている姿が思い浮び楽しかつた (3)

3歳から5歳児

- ・様々な作品制作に取り組んでおり成長にびっくりしました(C5、B1)
- ・クオリティーが高かつた。完成度が高い(C3、B3)
- ・我が子の作品を見ると同時に他の子の作品も見られて参考になります(C3)
- ・作る過程を想像しながら楽しませてもらった(C4)
- ・テーマに沿ってストーリーがあつておもしろい(B4)
- ・毎年、楽しみ(B3)
- ・子ども達のアイディアあふれる作品で見ていて楽しかつた(C1、B1、A1)
- ・毎年、先生たちの企画がすばらしい(A5)
- ・子どもとゆつたり見られた(C2、B1)

6 その他、ご意見・要望・感想など

0歳～2歳児

・Web 便りに自分の子どもがなかなか写つてなくて、がっかりした月が連続したことがあつた。可能ならもらう写真を増やしてほしい (2)

3歳から5歳児

Cクラス

・Web やクラスだよりで写真を見られるのがうれしいです。オンラインなどを利用して写真が見れたらいいな(C2) ・遠足等、行事があるときだけでもいいので写真の購入とかできたらうれしい(B1) ・Web の写真が少ないと思います 年間で頂ける写真も少ないので先生が日常撮りためている写真を希望者に販売することはできないでしょうか(A3)

考 察

回答数について

- ・回答は無記名で、兄弟姉妹が在園している場合はそれぞれの年齢で回答していただいた。
- ・回答数は保育部が 37 名中 35 名、幼稚園部が 92 名中 83 名、合計 129 名中 118 名の回答。
- ・回答率は保育部が 94.6%。幼稚園部が 90.2%、全体で 91.5%。

教育・保育に関して

- ・問 2 で、約 86%の子は幼稚園に行くことを楽しみにして登園しているが、15 人は「どちらともいえない」との回答なので、「いいえ」の回答者を含め今後配慮していく必要がある。

- ・問 3 は、幼稚園部と保育部では、保育活動や行事で行っていないものがあるので、集計結果の考察ではその点を考慮しなければならない。
- ・80%台の割合を示したのは「給食」「園庭での遊び」であった。「お祈り」については全体では61%であったが、幼稚園部は68%と年齢と共に活動の意義が理解されている。今後も園児や保護者に活動の意義を伝えながら取り組んでいきたい。
- ・50%以下のものはなく、大方プラスの評価で指示されていると判断したい。
- ・問 4 に関して、十分充実していて今のままでよいとの回答者がいる一方、体育や英語に関してはもう少し充実してほしいとの回答者が若干名いた。

職員の対応に関して

- ・問 5 で、職員の対応で嬉しかったことについて尋ねた。
- ・保育部は 34 人、幼稚園部は 70 人と多くの保護者から回答をいただいた。自由記述なので全てを紹介できないが、毎日の園児の様子について保護者に連絡していることが保育部、幼稚園部共に、多くの保護者に喜ばれている。担任外の職員の子どもに対する対応についても好意的に評価をいただいている。園児一人一人に目配りをしていることや相談に対応していることが挙げられている。
- ・問 6 で、職員の対応でもう少し配慮が必要と思われた事は、指摘は少なかったが、職員間の連絡ミス等が指摘されていたので、今後気を付けていかなければならない。
- ・問 5 から問 6 を総合的に判断すると、職員の対応には大部分の方は「満足している」と判断することができる。

家庭と園との連携について

- ・問 7 で園と家庭との情報交換について訊ねた。約 80%の方が「満足・やや満足」と回答している。
- ・問 8 で園からの情報発信について訊ねた。約 88%の方が「満足・やや満足」と回答している。
- ・問 7 や問 8 によって情報発信については、おおむねプラスの評価をいただいている。しかし、アンケート最後の「その他の要望」では、写真掲載や web 等に対する要望が見られた。

子育てについて

- ・問 9 で、95%の方が子育ては「楽しい、非常に楽しい」と回答している。「非常に負担」はいないが、「負担」と感じている方は 7 名いる。
- ・問 10 で、当園での子育て相談の対応について訊ねた。70%の方が「満足・やや満足」と回答し、「やや不満、不満」はいなかったが、問 9 に関連して今後園児と保護者に寄り添った相談対応にしていく必要がある。
- ・問 11 でお子さんの育ちに関して最も気を使っていることを 3 項目あげてもらった。「健康や病気」、「あいさつ」、「食事」が高い割合を示した。次に多かったのは、「早寝早起き」、「歯磨き」で 30%台であった。

コロナ対応について

- ・問 12 でコロナ対応での生活習慣の変化について訊ねた
- ・3歳未満児は、手洗いが増えた。
- ・3歳以上児は、手洗いが1番増え77%で、次に「テレビの視聴時間」と「うがい」が40%の子が増えている。就寝時刻、起床時刻の変化には影響がなかったと判断できる。
- ・問 13 で、家庭での健康観察についての感想をたずねた。

- ・健康観察は当然で負担に感じていないとか、健康に関心を持ち体調管理になっている等の大勢の保護者からは支持されたが、数は少ないものの負担に感じている保護者もいる。また、5名の方から押印の必要性について意見をいただいた。
- ・問 14 は当園のコロナ感染症予防の取り組みに対しての感想は、保育部が 22 名、幼稚園部が 68 名の方から感想が寄せられた。その中で、今の取り組みで十分であるとか適切であるとの意見が 68 名と多かった。職員に苦勞をかけている。感謝であるとの意見も多かった。
- ・問 15 で「8月13日から25日までの休園措置」に対する感想をたずねた。
- ・感染拡大防止のため適切な措置で、仕方がないとの意見が 28 名で最も多かった。そして感染が拡大しないで済んだので安心した。との意見が多かった。
- ・ていねいな情報提供と説明があり安心できた。職場に連絡することができた。
- ・両親とも仕事が休めず、預かってもらいありがたかったとの回答が 3 歳以上児で 4 名いた。
- ・「今後 1 名でた時にすべて休園にすること難しい」とか「困った、連絡が遅かった」との回答も 1 名ずつ見られた。
- ・問 16 は、例年の運動会を中止し DVD で発進したことに対する感想。
- ・練習から本番まで見ることができ良かったとの回答が未満児、以上児共に多かった。また、友達の様子も見ることでよかった。
- ・問 17 は作品展の感想。
- ・様々な作品制作に取り組んでおり子どもの成長を感じた。我が子の作品を見ると同時に他の子の作品も見られて参考になる、作る過程を想像しながら楽しませてもらった。クオリティーが高かったとか完成度が高いとの感想が多かった。

その他の意見や感想

- ・幼稚園に対する感謝の意見が多かった。写真販売について複数の方から要望意見が寄せられた。

まとめ

- ・2年に一度の利用者アンケートでした。回答率は、92%で多くの保護者から回答いただいた。
- ・今回は、コロナ感染症予防に対する園の取り組みや園行事の変更等に対する感想を加えた。自由記述方式で回答していただいた。
- ・86%の子は幼稚園に行くことを楽しみにし、保護者も園の運営に対してプラスの評価をいただいていると判断できる。
- ・職員の対応に関しては自由記述で具体的な対応で嬉しかったことがたくさん記されていて今後の職員の励みとなった。
- ・コロナ対応では園の取り組みに対し、好意的に評価していただき、家庭での取り組みについてもご協力をいただいていることに感謝したい。
- ・全体的には園の取り組みに対しご理解をいただきプラスの評価をいただいたことについては日ごろの職員の努力が認められた。課題も指摘されているので園で検討し、改善を加えていきたい。
- ・今回は自由記述形式の回答が多かったのですが、保護者からは多くの感想や意見が寄せられた。すべてを紹介できなかったが職員間では一つ一つに目を通し、今後の保育活動に生かしていきたい。アン

ケートへの保護者のご協力に感謝します。

- ・尚、自由記述で一人お一人の感想をすべて紹介することはできませんでした。詳しく知りたい方は閲覧用として準備してありますので申し出てください。

2、学校関係者評価委員会 苦情解決第三者委員会報告内容

○ 期 日 3月18日（金） 午後4時～

○ 出席者

「学校関係者評価委員」

「苦情解決第三者委員会」

保護者代表	ふたば会会長代理 川村恵一	沼田 崇子
	月花 恵梨香（保育部保護者）	田村 幹雄（欠席）
学校評議員代表	高屋 一成	宮手 義和
学識経験者代表	松本 静毅	高橋 眞司
地域住民代表	佐藤 彰二	黒澤 淳子

「内丸学園盛岡幼稚園」

理事長	坂本 洋	園長	坂本 信行
主幹保育教諭	吉田 房子	指導保育教諭	高村 和江

○ 会議次第

- 1、開 会 委員会の方々のご紹介
- 2、挨拶 坂本理事長 松本委員長
- 3、報告と協議

◎令和3年度の業務運営方針と執行報告

- ・幼稚園事業報告 一年間の様子はパワーポイントで説明
- ・特色ある幼児教育振興事業について
- ・園内・園外の研修実施報告
- ・子育て相談集計結果
- ・園内における事故・ヒヤリハットの集計結果・考察
- ・園からの情報発信
- ・利用者アンケートの集計結果と考察
- ・令和3年度運営の反省（成果と課題）
- ・令和4年度 盛岡幼稚園運営方針 ・令和4年度学級編成及び園児数

4、評 価 （質問や感想等をお聞きする）

A氏

- ・パワーポイントを見てコロナ禍中でも様々な行事を工夫されて行っていたことを感じた。
- ・0歳～5歳の成長をみてこれだけ成長していくことを改めて感じた。
- ・保護者のアンケート調査では保護者の率直な意見が出ており、その意見を分析し改善する、ということがしっかりできている。

B氏

- ・個別に配慮する子が増えていることを感じる。集団の中でその子に対応していくのは難しいところ

もあると思う。

- ・事故報告やヒヤリハット～未満児はまだ身体機能が未熟なためということがあると思うが、以上児は普通の遊びからもっと体を動かして遊ぶ、という経験が必要でないか。
- ・アンケートの回収率が全園児の保護者 90 パーセントを超えていることはすごいことと思う。

C 氏

- ・コロナ禍でも工夫して行事や自然体験などを行っている。
- ・質問 行事が縮小する等から子ども達に何か変化はあったか？

(回答) 子ども達にはなかったと思うが、行事に参加できない親たちへ例えば参観日の劇ごっこではYouTubeで配信したり、運動会ではDVDを作成するなど保護者への配慮を心がけていった。

D 氏

- ・町内会の行事も人が集まらない、という流れになっている。子ども達の元気な活動の日常状況が町内から見えず、様子が把握できない。
- 人とのつながりも薄れていることを感じる 今後は町内会活動の在り方を考えていきたい。

E 氏

- ・コロナ禍の中で様々な行事をやめる方向のところが多いが、子ども達に経験させたいという考えで工夫して行っていることを感じる。
- ・薬剤師として環境の検査をしているが、当園は酸素・湿度等きれいな環境の保育室である。

F 氏

- ・DVD等で園の様子がわかり有難い。
- 自分の幼稚園の思い出として、教会での牧師さんが印象的であった。

G 氏

- ・一人一人の子どもに寄り添ったきめ細やかな教育を受けていただいていることを感じた
- ・担任以外の先生にも声をかけてもらい、マスクごしに先生たちの笑顔が感じられ、安心して預けられる場である。

H 氏

- ・コロナ禍になって2年たち、当たり前になんかできなかったことができなくなっている。
- しかしコロナがなかったら思いつかないこともあったと思われ、発想を変えながら対応していくことも大事。
- ・保護者とのつながりでマスク越しということもあり、親の表情に気づかなかったり、つかめないことがあると思われる。丁寧な関わりが大事でありコミュニケーションを深めていただきたい。

I 氏

- ・保護者アンケートにはでてこない闇が潜んでいることもあるので、普段から保護者とのコミュニケーションを図ることが大事。
- ・内丸地区の街の真ん中に園がある、という意味があると思う。心にとめて大事にしてほしい。
- ・子ども達と取り巻く環境 地球温暖化、また、日々テレビから流れる戦争を子どもたちはどう感じていくのだろうか。周囲の大人は心にとめながら子どもに寄り添っていくことが大切ではないか。

IV 財務の内容（令和3年度）

1、資金収支計算書

収入の部		
科 目	令和2年度	令和3年度
学制生徒等納付金収入	13,275,543 円	12,375,927 円
手数料・寄付金収入	291,609 〃	268,095 〃
補助金収入	142,678,830 〃	139,387,670 〃
付随事業・収益事業収入	5,545,860 〃	4,428,157 〃
受取利息・配当金収入	1,613,069 〃	493,619 〃
雑収入	1,820,090 〃	2,204,670 〃
その他収入(前受、未収金・預り金)	28,446,502 〃	88,723,211 〃
資金収入調整勘定	△13,559,733 〃	△10,774,720 〃
前年度繰越支払資金	69,242,935 〃	55,673,828 〃
収入の部合計	249,354,705 円	292,780,457 円
支出の部		
人件費支出	124,990,522 円	132,758,512 円
教育管理経費支出	30,440,882 〃	30,168,873 〃
借入金等返済・利息支出	0 〃	0 〃
施設・設備関係支出	1,760,167 〃	3,933,307 〃
その他支出(資産運用・預り金・前払)	36,640,746 〃	89,623,545 〃
資金支出調整勘定	△151,440 〃	△3,850,340 〃
翌年度繰越支払資金	55,673,828 〃	40,146,560 〃
支出の部合計	249,354,705 円	292,780,457 円

2、貸借対照表

資産の部		
固定資産	399,759,278 円	409,649,349 円
流動資産	69,418,281 〃	51,357,560 〃
資産の部合計	469,177,559 円	461,006,909 円
負債の部		
固定負債	4,700,000 円	8,036,260 円
流動負債	79,629 〃	1,078,201 〃
負債の部合計	4,779,629 円	9,114,461 円
基本金の部		
基本金の部合計	290,907,211 円	290,838,343 円
消費収支差額の部		
翌年度繰越消費収入超過額	173,490,719 円	161,054,105 円
負債,基本金,消費収支差額の部合計	469,177,559 円	461,006,909 円

【注】 ・重要な会計方針の変更、該当事項なし。 ・減価償却額の累計額の合計: 152,710,460 円